

事業所名

児童発達支援センター たびだち学園

支援プログラム

作成日

令和 7

年

3

月

7

日

法人（事業所）理念		障害児の意思・人格を尊重し、社会福祉基礎構造改革の趣旨をふまえ、適切な児童の発達支援を提供できるよう創意工夫を凝らします。また、コミュニケーション能力と社会性を持たせ、障害児本人の最善の利益を保証し、地域社会への参加及び地域社会における包摂の推進を行うと同時に地域の関係機関や子育て等に不安や悩みを持つ児童の家族等の支援に取り組み、福祉の推進に寄与することとしています。					
支援方針		社会に出るにあたり必要な、生きていく力が身につくよう、年齢に合わせた4つの支援【・自己肯定感 ・達成感 ・仲間形成 ・孤立の防止】、4つの基本活動【・自立支援と日常生活の充実のための活動 ・創作活動 ・地域交流の機会の提供 ・余暇の提供】を基本として支援していきます。					
営業時間		9 時	00 分から	18 時	00 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・生活リズムや健康状態を把握し、保護者とともに体調管理に気を付ける。歯科検診、定期健康診断、身体測定などを行う。 ・個々のペースに合わせて身辺自立を目指す。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 給食（楽しく食べられるよう環境を整える。苦手なものでも一口食べてみよう） ◆ 排泄（定時排泄から始まり、個々の気づきを大切に自立を目指す） ◆ 着脱（服や靴の着脱で、自分でできることを少しずつ増やしていけるよう、個々のペースを見計らいながら促していく） 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・全身の運動、微細運動をバランスよく取り入れていく。 ・近くの公園まで歩いて往復 ・体力をつける ・感覚統合遊具を使った活動 ・粘土やビーズなど手指の動作 ・体の動かし方に気づいてボディイメージを高めていく ・季節の制作 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・園の生活を通して、集団での規則や場面に合った行動ができるよう支援していく ・それぞれの認知の状況から、言葉がけや絵カードを用い、自立的な行動に繋げていく 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・絵カードやジェスチャー等を用いながら、自分の気持ちを表現できるよう支援していく ・言葉と物や行動が一致できるよう支援していく ・相互的なコミュニケーションを獲得していくために、聞く力を持てるよう支援していく 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの気持ちに共感し、遊びを通して信頼関係を気付いていく ・集団生活や遊びを通して、相手の意思を尊重し、かかわりの中でやってはいけないことが理解できるよう教えていく ・日々の活動を通して、他者への興味が広がるよう支援していく 					
家族支援		子育てや家庭の困りごとに対する相談援助 ・個別面談 ・保護者会 ・座談会 ・相談会 ・外部講師講演会 ・保護者参加行事（七夕集会、運動会、クリスマス会）			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・就学時や幼稚園、保育園への移行時の情報共有 ・併行利用先との情報共有
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等訪問支援 ・歯科医師との連携 ・併行利用先や関係機関との連携 ・高齢者施設との交流 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修 ・内部研修（虐待防止、感染症、身体拘束適正化等） ・自己評価
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・入園式 ・親子遠足 ・父の日座談会 ・七夕集会（保育参観） ・運動会 ・クリスマス会（保育参観） ・卒園式 ・就学児向けプログラム ・プール遊び（園内・園外） ・健康診断 ・歯科検診 ・避難訓練 ・畑での収穫体験 ・泥んこ遊び ・季節の行事（ハロウィン・節分等） 					